



妙高市立妙高高原北小学校

第6号

学校だより

令和4年9月22日

目標を達成するために

校長 加藤 一穂

2学期をスタートさせてから、早いものでもう1か月になろうとしています。

始業式に「自分で気付き 考え 行動する子」を目指して、一人一人が自分のために、そして仲間のために行動していこうと話しました。

2学期最初の行事は、妙高高原南小学校との合同青空ウォークラリーでした。「笑顔」「力いっぱい」を合い言葉に歩きました。もちろん、学年に応じて目標は違います。一人一人が、その目標に近づくために自分のめあてを決め、行動しました。5、6年生の振り返りを紹介します。自分、そして班の目標を達成するために、仲間のことを考えながら、気付き・考え・行動する姿がたくさん見られました。



○班長として、リーダーシップをとり、タイムマネジメントをしつつ、下級生のことも見ながら歩くことができました。また、前回のウォークラリーよりも南小の人と喋ることができました。

○ウォークラリーでは、1年生が疲れてしまって何もしゃべらなくなってしまったので、みんなでしりとりをして遊びながら歩きました。自分からみんなが楽しめるような会話もしました。みんなが楽しく会話に乗ってくれました。あいさつもできました。…みんなときずなが深められました。

○高原南小のみんなの素敵な顔を見られてよかったです。

教室には子供たちの2学期の目標が掲示されています。目標は決めただけでは達成されません。目標を達成しようと強く思い、そのために具体的な行動をとることが大切です。そして、それを続けることです。長く続けることができれば、自分自身の成長や変化に気付くようになり、周りも認めてくれるようになります。すると、目標達成に近づくだけでなく、その後の人生が大きく変化していきます。



さて、2学期の子供たちの目標の中で多かったのは、来月のマラソン大会に関することでした。私は「マラソン」のような長い距離を走ることは、積み重ねた努力のバロメーターになると思っています。人と比べると、なかなか自分の成長は分からないかもしれません。しかし、自分の記録だけに目を向けると、努力が記録の更新に確実に繋がっていることが分かります。努力は裏切りません。真摯な取組が確実に実を結ぶと実感できる、またとない機会です。妙高高原北小のマラソン大会は、自校だけでなく妙高高原南小との合同大会です。自分に負けないための刺激となる共に競うライバルも、自校だけのマラソン大会より多くなります。この機会に、「自分に負けない」「つらいことでも努力した自分を自分で誉める」…、そんな経験を多くの子供たちがしてくれればと願っています。

学年の活動紹介

【1年】 9月6日に入学した羊のゆめちゃんのお世話をがんばっています。ゆめちゃん牧場で一緒に遊んでいます。



【2年】 夏休みの間も水やりをして一生懸命育てた野菜を使って、調理をしました。野菜の味が最高です。



【3年】 PTC活動でオリジナルTシャツを完成させました。親子で相談しながら仕上げた世界に一つのTシャツです。



【4年】 全校のみなさんにゴミの減量と分別を意識してもらえるように、学校内のゴミ箱の表示を制作しています。



【5年】 一つ一つの稲に穂が実っています。近くには小鳥が。大事なお米を守るため、かかしを作り、田んぼに立てました。



【6年】 高原南小と合同で地層の見学に行ってきました。化石が出るのではないかとわくわくの子供たちでした。



学校の様子や子供たちの活動については、学校ホームページを活用させていただきます。学校の情報を随時更新しています。ぜひホームページをご覧ください。

